

園名	あそか保育園
日時	令和7年3月

1, 活動テーマ

<テーマ>

4歳児・・・身近な素材「紙」を使って音を出して遊んでみよう

<テーマ設定理由>

子どもにとって身近な素材で音遊びができないか考えた。

2, 活動スケジュール

置かれた紙を自由に手に取ってどうしたら音が鳴るか試してみる。その後音楽と共に鳴らしてみる。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

いろいろな大きさ、厚みの違う紙を用意する。場所は静かなホールで行う

4, 探究活動の実践

<活動内容>

数人で園にある形や厚みの違う紙を用意し、子ども達が好きなように音を探し試して鳴らす。

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり>



いろいろ素材の紙を広げておきました。

細い紙で大きな紙をこすってみたり揺らして音を出してみる。



友達の出す音を聴いたり細い紙の両端を持って引っ張ったり緩めたりして音を出している。少し大きい長い紙の端と端を合わせて鳴らすと「シンバルみたい」と言う。



折ったりして形を変えてもいいことを伝えると半分に折って見たら「音が変わった」と言う。



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

「紙を使って音を出す」は、始めは少し難しいかと思っていたが手に取り試すうちにどんどん新しい音を見つけていた。見つけた音で楽しむ為にリズムの音楽を掛けるとリズムに乗って鳴らしていた。音楽が止まると「楽しかった」「またやりたい」など言っていたので楽器が無くて身近な素材ならいつでも音を楽しめると思った。